

## 第 28 回 金融庁契約監視委員会の概要

○開催日時：令和 2 年 9 月 14 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分

○開催場所：中央合同庁舎第 7 号館西館 12 階 共用第 2 特別会議室

○出席者：赤松委員長、石島委員、大村委員

○議題：

（1）事務局説明

金融庁における令和元年度下半期の契約状況について（別紙参照）

（2）契約担当者説明及び質疑応答

個別契約に係る審議について

<一者応札・一者応募関係>

- ① 金融庁行政情報化 LAN システムの運用管理業務 一式
- ② 金融庁業務支援統合システムの追加変更開発 一式
- ③ 貸金業利用者に関する調査・研究 一式
- ④ 消耗品（HDD、SDD 等）の調達 一式
- ⑤ 『証券六法（令和 2 年版）』の購入 一式
- ⑥ 情報セキュリティ監査業務 一式
- ⑦ 金融庁行政情報化 LAN システム更改に係る機器撤去等 一式
- ⑧ 電子複合機による出力環境サービスの提供（令和 2 年 2 月～令和 5 年 12 月）一式
- ⑨ 金融庁業務支援統合システムのストレージ増設・導入業務 一式
- ⑩ 有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）の次期システムの構築・運用等のための調達仕様書作成支援業務 一式

○主な審議内容

・個別契約に係る審議

質問・意見	説明
<一者応札・一者応募関係> ①金融庁行政情報化 LAN システムの運用管理業務 一式 ・数年後に実施が見込まれる次回の本業務の調達に向けて、今回の調達を踏まえた改善事項について検討はしているか。	・現運用業者からの意見等を日々の運用業務の中でフォローし、次回調達時の仕様書等に反映させることを検討している。

<p>②金融庁業務支援統合システムの追加 変更開発 一式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けをした4社のうち3社が公募に参加できなかった理由は何か。</li> </ul> <p>③貸金業利用者に関する調査・研究 一式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の入札で応札者が増えた理由（どのような工夫をしたのか）</li> </ul> <p>④消耗品（HDD、SDD等）の調達 一式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して一者応札となっているが、前回の一者応札の結果を、どのように今回の調達に反映させたのか</li> <li>・情報セキュリティ体制の整備ではなく製品の出荷に関する管理体制や出荷体制について受託者に求める要件としたほうが有効ではないか。</li> </ul> <p>⑤『証券六法（令和2年版）』の購入 一式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して一者応札となっているが、競争性を高めるための取組み・一者応札となった理由は何か</li> <li>・現在のようにテレワークが進んでいる状況の中、電子版の証券六法の利用について検討はしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年近く使用している古いシステムの変更開発は、かなりの時間とコストがかかり、責任をどこまで持てるかが不明であることが理由。</li> <li>・調達の時期が年度末の繁忙期と重なり応札できなかった、というのが一昨年度に一者応札となった理由。そのため、昨年度は調達の時期を前倒しし、入札公告期間及び契約期間を延ばすことにより、スケジュールに余裕を持たせるようにした。</li> <li>・前回の入札は、受託者に求める要件の情報セキュリティに関する資格の保有又は同等の体制を整備していなかったこと、競争参加資格の参加条件に含まれていなかったことにより、複数者による応札がなく一者応札となった。そのため、今回の入札においては、参加条件の緩和を行った。</li> <li>・現在、仕様書に出荷・製造に関する管理体制の項目を設ける方向で検討を行っている。</li> <li>・例年落札しているのが版元であるため、価格面で競争し落札できる可能性が低いと判断し参加を見送ったことが理由。</li> <li>・今後、検討する。</li> </ul>
--	--

<低落札率関係>

⑥情報セキュリティ監査業務 一式

- ・低落札率となった経緯

・落札者が、前年度の仕様と比較して業務量が減少していると判断したため落札率が低くなった。

<その他>

⑦金融庁行政情報化 LAN システム更改に係る機器撤去等 一式

- ・再委託についての制限や再委託先の信頼性の確保はどのように行っているのか。

・再委託をする場合、再委託先に対しても、事前に情報セキュリティに関する要件に適合することを証明する資料を提出するよう求めている。

⑧電子複合機による出力環境サービスの提供（令和2年2月～令和5年12月） 一式

- ・価格水準については、どのような情報を得て比較しているのか。また金額削減に繋がった項目はあるのか。

・調達の前に他省庁や企業等へのヒアリングを行っている。  
金額の削減に直接繋がった項目はないが、多くの事業者が参入できるよう許容できる範囲で仕様の見直しを行った。

⑨金融庁業務支援統合システムのストレージ増設・導入業務 一式

- ・ストレージの増設にあたり、クラウド利用については検討したか。

・クラウド利用について検討はしたが、調達時点ではその方向で進めていなかったため断念した。  
今後の調達においてはクラウド利用について積極的に考えていく予定である。

⑩有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）の次期システムの構築・運用等のための調達仕様書作成支援業務 一式

- ・企画内容をどのように審査・採点し、契約相手方を決定したのか

・企画内容について審査員による書類審査を行い、プレゼンテーションや質疑応答を

	通じて、本業務の目的に沿った結果が得られる企画書を提出した事業者を選定している。
--	--

以 上

## 契約概況

### 【契約件数実績】

		令和元年度上半期		令和元年度下半期		
競争性のある調達方式	件数	99	44			
	比率	71%	92%			
	競争入札	件数	58	29		
		比率	42%	60%		
	一者応札	件数	28	6		※
		比率	20%	13%		
	企画競争	件数	3	5		
		比率	2%	10%		
	公募	件数	38	10		
		比率	27%	21%		
競争性のない随意契約		件数	40	4		
		比率	29%	8%		
合計		件数	139	48		
		比率	100%	100%		

### 【契約件数実績：平成29～令和元年度】

		29年度	30年度	令和元年度	
競争性のある調達方式	件数	151	128	143	
	比率	76%	74%	76%	
	競争入札	件数	99	81	87
		比率	50%	47%	47%
	一者応札	件数	28	29	34
		比率	14%	17%	18%
	企画競争	件数	11	12	8
		比率	5%	7%	4%
	公募	件数	41	35	48
		比率	21%	20%	26%
競争性のない随意契約		件数	48	46	44
		比率	24%	26%	24%
合計		件数	199	174	187
		比率	100%	100%	100%
契約金額実績		45.6億円	47.6億円	39.6億円	

※一者応札となった主な要因

不参加事業者から試行的に確認してみたところ、プライバシーマーク及びISMSIによる認証などの参加資格を満たしていないことや、業務スケジュールが繁忙期であり、人的リソースが割けなかったことなどが主な要因であった。